



社会的価値と経済的価値の両立は、
新価値創造なしには
成し得ないという認識のもと、
挑戦する企業文化の醸成に
取り組みます。

取締役執行役員
新価値創造部・品質保証部管掌
技術戦略企画部長

川崎 順司

ニチレイグループの目指す 新たな価値創造

当社は「暮らしを見つめ、人々に心の満足を提供すること」をミッションとし、社会とともに成長してきました。2022年4月に制定したサステナビリティ基本方針「ニチレイの約束」でも、「新たな商品やサービスを創り出し、事業を通じてお客様および社会の課題を解決します」と掲げています。その課題とは、不便、不可能、不足、不満といった「不」であり、これらを解消することが新たな価値創造であると捉えています。

コロナ禍などに由来する生活者のライフスタイルの変化や、気候変動による異常気象など、社会は大きく変化しており、企業の存在意義や求められる役割も変わってきています。「食」はグローバルに考える必要があり、国内人口はシュリンクする一方、世界人口は増加を続け、いずれ100億人を超えると言われていました。「食」の領域で解決しなければならない「不」が多数存在するとともに、そこには新たなニーズも生まれてくるでしょう。私たちはそこへ向き合っていく必要があります。

長期経営目標「2030年の姿」に向けた 取り組み

食の領域においてニチレイが目指す新たな価値について、本中期経営計画の策定にあたって議論を重ね、「健康」「楽しさ」「環境にやさしい」という3つの価値を中心に据えることとしました。これらを実現するキーワードは、「フードテック」と「DX」であると考えています。これまでのニチレイのコアコンピタンスである「おいしさ」や「安定供給力」に加え、これら2領域への資源配分を強化し、ニチレイらしい健康で持続可能な素材・商品・サービスの開発を進めていきます。

グループ目標 (KPI) を改定

今回、「2030年の姿」実現に向け、ニチレイグループの重要事項(マテリアリティ)である「食と健康における新たな価値の創造」のありたい姿やグループ施策を具体的に見直し、先ほど述べたような新たな素材の開発と、おいしく健康価値を高めた商品・サービスとを合わせた売上高1,000億円を目標とすることとしました。さらに、人々の豊かな食生活と健康につながるさまざま

食と健康における既存領域を超えた挑戦により、新たな市場や顧客価値を創造する



グループ施策

- R&Dを強化し、地球環境に配慮した新たな食資源や健康価値素材を開発
- マーケティング・DX分野への資源配分による、おいしく健康に配慮した商品の開発や、食生活を豊かにするサービスの提供
- 新たな領域で価値を創出・育成する仕組みを作り、イノベーション活動を推進

な情報提供を積極的に行い、年間で延べ2億人に届けていきたいと考えています。

中期経営計画「Compass Rose 2024」 における新価値創造の取り組み

前中期経営計画「WeWill 2021」では、健康機能を付与した新たな主食事業「ごはんのみらい」を立ち上げました。またAIを活用した献立提案アプリ「me:new」を運営するミーニュー社の株式を取得し、アプリサービス事業へのチャレンジを始めました。またイノベーション活動を組織的に推進することを目的に、ISO56002に基づくイノベーション・マネジメントシステム(IMS)を構築しました。

「Compass Rose 2024」においては、「ごはんのみらい」、「me:new」に加え、新たなたんぱく源として植物肉・培養肉とともに注目されている「昆虫食」の取り組みを開始しています。既存のシーズでは、「亜麻仁の恵み」シリーズをはじめとする「健康価値食肉」の強化や、天然ビタミンCを豊富に含むアセロラの新たな機能性に関する研究をさらに進めていきます。また、

栄養に対する取り組みも、健康で豊かな食生活を実現するためには重要であると考えています。そのため、現代の健康課題である“過栄養と低栄養による栄養不良の二重負荷”を解消するための取り組みにも力を入れていきます。

IMSについては、さらなる社内への浸透とグループ全体での推進を図り、「挑戦できる」企業文化を醸成しニチレイらしい価値創造を進めていきます。

これらの新規事業テーマの推進と仕組みづくりは4~5年前より別々の組織で進めておりましたが、「新たな価値の創造」を力強く推進するため、IMSと新規事業開発の2つの機能を統合し新価値創造部を設置しました。

現在の持続可能性の危機をはじめとする大きな社会変化は、戦後の食料難に匹敵する大きな変化であると考えています。社会的価値と経済的価値の両立は、企業がこれからも存続し、成長していくための前提条件と捉えており、そのような認識のもと、今後もニチレイグループらしいイノベーションを推進していきます。